

施策評価シート

施策番号【3-2】

評価年度	令和2年度	事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	小野田 浩司	
施策番号	3-2	施策名	交通事故や犯罪のないまちをつくろう		総合計画掲載頁	104～107
主担当部名	総務部					
関連課名	防災安全課、福祉課、産業課、道路河川課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1		交通安全	R5	R10
指標名	市内での人身交通事故件数		中間値	目標値
指標の定義	1年間の市内での人身交通事故件数		250件以下	220件以下
取組分野2		防犯	R5	R10
指標名	市内での犯罪発生件数		中間値	目標値
指標の定義	1年間の市内での犯罪発生件数		490件以下	440件以下
取組分野3			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				
取組分野4			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				
取組分野5			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 交通安全							
	成果指標名	交通安全に係る教室や啓発活動などの実施回数	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			回	45	46	46	47	47
	対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した交通安全に係る教室や啓発活動などの回数				

指標②	取組分野2 防犯							
	成果指標名	市内の防犯灯と防犯カメラの合計設置基(台)数	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			基(台)	2,543	2,545	2,560	2,575	2,590
	対象	防犯灯と防犯カメラ	指標設定の考え方	防犯対策を推進するため、市内に防犯灯や防犯カメラを設置する。				
			把握方法	市内に設置した防犯灯と防犯カメラの合計数				

指標③	取組分野2 防犯							
	成果指標名	防犯に係る教室や啓発活動などを実施した回数	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			回	19	20	20	21	21
	対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の防犯意識の高揚を図るため、防犯に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した防犯に関する教室や啓発活動の回数				

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象		指標設定の考え方					
			把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象		指標設定の考え方					
			把握方法					

3 施策の評価 ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動などを実施し、近年の市内での交通人身事故件数は減少傾向にある。 ・防犯では、地域の自主防犯パトロール隊活動や深夜防犯パトロール事業、防犯カメラの設置費補助事業などを実施し、近年の市内での犯罪認知件数は減少傾向にある。	
	成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民 ・自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」という考え方に立ち、家族ぐるみ、地域ぐるみで交通安全、防犯意識の高揚に努める。 ・行政や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。 行政 ・交通事故や犯罪について市民への情報提供、交通安全、防犯に関する教室や啓発活動を実施する。 ・市民や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
近隣市町との比較		・近隣市町において、交通安全、防犯に関する事務事業を実施していない自治体はない。

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
平成30年度以前の活動	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動、歩行者保護モデルカー活動などを実施した。 ・防犯カメラの設置費補助事業などを実施。 ・市民や事業者へ交通安全、防犯への意識高揚を図ることを目的に「安全なまちづくり推進大会」を開催した。
令和元年度の活動内容	・交通安全では、12月から新たに高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故抑止を目的に「後付け運転支援装置設置費補助事業」を開始した。 ・防犯では、行政区が防犯カメラを設置しやすくするため、防犯カメラ設置費補助金の補助率を2分の1から5分の4へ引き上げ、更なる地域防犯力の向上に努めることとした。 ・みよし市の安全安心のまちづくりの啓発にあったて、親しみがわくようにと「安全安心キャラクターみよ獅子ちゃん」を考案し、啓発チラシなどで活用した。
積み残し課題等	・防犯においては、特殊詐欺の巧妙化やインターネット犯罪など、新しい手口での犯罪が発生している。

4 活動計画 ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和2年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・交通事故、犯罪の抑止に特効薬はなく、今後も地道な啓発活動が続けるなど、市民、地域と警察、行政が連携し一体となって活動していく必要がある。
施策目標達成に向けての令和2年度の活動内容	・子どもから高齢者までの全世代の交通安全、防犯に対して意識が高揚するよう、啓発活動を引き続き実施していく。 ・交通安全では、令和元年度から新たに始めた「後付け運転支援装置設置費補助事業」をはじめ、歩行者保護モデルカー活動を継続して実施していく。 ・防犯では、新しい手口での犯罪に関する啓発活動を実施していくほか、鉄道駅に設置し老朽化した防犯カメラを更新する。 ・「安全安心キャラクター みよ獅子ちゃん」の着ぐるみを市制10周年記念として作成し、各種イベントにおいて啓発活動で使用していく。